

# 外国語教育メディア学会 (LET) 第96回 (2021年度春季) 中部支部研究大会



## プログラム

大会テーマ：コロナ禍での異文化コミュニケーション

日時 2021年5月22日(土) 10:00-17:00

会場 オンライン (Zoom 使用)

実行委員会本部：名城大学外国語学部  
〒461-8534 名古屋市東区矢田南 4-102-9

研究大会実行委員長 西尾 由里 (名城大学)

主催 外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部

後援 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

問い合わせ先：外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部事務局

事務局長 工藤 泰三 (名古屋学院大学) taizo@ngu.ac.jp

研究大会サイト：<http://bit.ly/LETC2021Spring>



参加申込締切は5月19日(水)です



## 時 程

9:30 Zoom 入室受付開始・賛助会員ビデオ放映 【Zoom Room 1】

10:00 - 10:10 開会式 【Zoom Room 1】

司会：西尾 由里（名城大学）  
主催者挨拶：高橋 美由紀  
（中部支部支部長・鈴鹿大学）  
開催校挨拶：二神 真美  
（名城大学外国語学部長）

10:15 - 11:45 講演 【Zoom Room 1】

司会・講師紹介：西尾 由里（名城大学）  
講師：近藤 祐一（立命館アジア太平洋大学）

### **Crisis or Opportunity:**

#### **コロナ禍が与えてくれた大学教育再考のための試練**

このコロナ禍は全学生の半数が留学生で、国内生の 1/4 を毎年海外に派遣している立命館アジア太平洋大学（APU）には大きな試練であった。しかし、これまでの方法論が使えなくなったことによりグローバル教育のみならず、大学教育の本質を問い直すことになった。ここではいくつか実践例を示しながら、これからのグローバル教育のあり方、大学教育の在り方について考察したい。

11:45 - 12:45 昼食・ランチョンセミナー 【Zoom Room 1】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

12:10-12:20 ㈱新興出版社啓林館 (<https://www.shinko-keirin.co.jp/>)

12:20-12:30 株式会社桐原書店 (<https://www.kirihara.co.jp/>)

12:30-12:40 チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)

12:50 - 13:20 LET 中部支部総会 【Zoom Room 1】

（中部支部会員の皆様はご出席ください）

.....  
**13:30 – 14:40 研究発表・実践報告**

**(1)13:30 - 14:00 (2)14:05 - 14:35**

**第1室【Zoom Room 1】**

司会：川口 勇作（愛知学院大学）

- (1) 全自動スピーキングテストで見えてきた母語干渉—heがsheに転移する原因を音声添削と音響解析で解明—【研究発表】

田淵 龍二（ミント音声教育研究所）

- (2) ダイナミックシステム理論による日本人英語学習者の第二言語習得における動機づけに関する研究—質的分析に基づいて—【研究発表】

武政 篤（碧南市立新川中学校）

**第2室【Zoom Room 2】**

司会：宮崎 佳典（静岡大学）

- (1) On the Creation of a Large-scale Academic English Phrase List【研究発表】

James Rogers (Meijo University)

- (2) 医学系論文抄録の日英対訳表現を活用した医学英語教育支援システムのプロトタイプ試作【研究発表】

中野 愛実（静岡大学）・宮崎 佳典（静岡大学）・  
藤枝 美穂（大阪医科薬科大学）・浅野 元子（大阪医科薬科大学）・  
野口 ジュディー（神戸学院大学）・石川 有香（名古屋工業大学）・  
若狭 朋子（近畿大学）

.....  
**14:50 – 16:50 シンポジウム【Zoom Room 1】**

**テーマ：「コロナ禍での国際交流やICT教育の可能性」**

司会：西尾 由里（名城大学）

シンポジスト： 反田 任（同志社中学校）

建元 喜寿（筑波大学附属坂戸高等学校）

西尾 由里（名城大学）

対面での交流を前提として行われていた国際交流や英語教育において、コロナ禍であっても、生徒や学生たちの学びを深めていくために、中学・高校・大学での新たな教育方法の実践および課題などを共有し、議論を深めていきたい。

**【シンポジスト発表概要】**

反田 任（同志社中学校）

「オンラインを活用した英語の授業事例」

GIGA スクールによる一人一台 PC の普及で ICT の活用が今後ますます加速

すると思われる。オンラインやICTを活用した英語の授業事例を紹介し、その可能性とメリット・デメリットについて考える。

建元 喜寿（筑波大学附属坂戸高等学校）

「インドネシアのみなさんと共に学んだこれまでの10年とこれからの10年」

筑波大学附属坂戸高等学校は、2011年にインドネシアボゴール農科大学附属コルニタ高校と国際連携協定を締結した。その後、様々な交流が10年にわたって繰り返し広げられてきているが、昨今のコロナ禍で直接交流はストップしている。しかし、これまでの交流をベースにしながらオンラインでの交流がすすんでおり、これからの構想も含めての活動を紹介する。

西尾 由里（名城大学）

「留学での学びの効果とオンライン留学の可能性」

大学での Semester 留学により、どのような能力が伸びるのかについて、CEFR や異文化感受性指標を用いての効果の説明し、現状のオンライン留学を紹介し、可能性や課題について述べる。

---

#### 16:50 - 17:00 閉会式 【Zoom Room 1】

司会：西尾 由里（名城大学）

主催者挨拶：柴田 里実

（中部支部副支部長・常葉大学）

事務連絡等：工藤 泰三

（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

（今大会は懇親会はありません）

## 発表概要

### 第1室【Zoom Room 1】

- (1) 全自動スピーキングテストで出てきた母語干渉—he が she に転移する原因を音声添削と音響解析で解明—【研究発表】

田淵 龍二（ミント音声教育研究所）

英語発音の弱点として、TH 音や R/L 区別などが知られる。ところが東北大でのスピーキングテストで従来にない弱点が出現した。それは he 音が she と認識される弱点だ。これを筆者は「he/she 転移」と名付けた。受験者は1年生3クラス約100名で週一5回の小テスト読み上げ音声をスマホなどの自動認識でテキスト化し NatTos（ウェブアプリ）で添削した。履歴を解析すると he を含む課題文6本、発声3,551回のうち689回で she になっていた。日本語ハ行の H 音には議論があり、今日ではヒ音は[h]ではなく [ç]とされる硬口蓋摩擦音に分類される。しかしこのヒ音には幅があり、たとえば江戸言葉では「日比谷」のヒが「渋谷」のシになる。このヒシ転移が一定の受験者に he/she 転移を生じさせたと仮説を立て音響解析したところ、江戸言葉ヒ音と英語 she 音にはともに4KHz 近辺に強い雑音成分が見られた。he/she 転移の原因が母語干渉（方言）であれば、地域による指導上の配慮が必要になる。

- (2) ダイナミックシステム理論による日本人英語学習者の第二言語習得における動機づけに関する研究—質的分析に基づいて—【研究発表】

武政 篤（碧南市立新川中学校）

第二言語の習得に基本的なものは、学習動機、学習方法、そして学習時間である。多くの人は学習に費やした時間が学習到達度に比例するのではないだろうか。Tsuboya-Newell は、TOEIC で900点以上のスコアを取得した日本人チューターは、約4,000の学習時間が必要であったと紹介している。日本の中学校と高等学校の英語授業時間は計945時間である。英語学習時間と比べると、日本人の授業時間は圧倒的に不足しており、学習時間を補うには学校外における個人の学習が必要となる。そこで本研究では、日本人英語学習者が学校外でどのように学習に取り組んでいるのか、もしくは、コミュニケーションを図る場所を得ているか、を調べた。本研究の動機づけ理論は“L2 motivational self system”の理論をもとに調査を行った。本研究の動機づけの分類として、“The ideal L2 self”, “The ought-to L2 self”, and “L2 learning experience”の3つの概念に焦点を当てる。分析方法として7名の被験者を質的研究に基づいて分析を行う。インタビューは“the semi-structured interview”を行う。

### 第2室【Zoom Room 2】

- (1) On the Creation of a Large-scale Academic English Phrase List【研究発表】

James Rogers (Meijo University)

This presentation will introduce a corpus-sourced large-scale academic English multi-word unit list. A unique conigramming method was used in comparison to previous studies which used n-gramming to provide better accuracy in regard to frequency and to avoid redundancy, and new

software was created for this project to enable its scale. Procedures used to generate this academic multi-word unit list, how and why phrases were selected, and the general outcomes of the study will be explained. This study is significant in its resulting scale, but also in how it showed that most vocabulary in academic phrases are high-frequency, but just used in ways to create novel meanings. Comparisons will be made about the features found in the new list against existing lists, and the characteristics found between academic and general high-frequency English. Finally, how and where audience members can access this new, free resource will be explained.

(2) 医学系論文抄録の日英対訳表現を活用した医学英語教育支援システムのプロトタイプ試作【研究発表】

中野 愛実（静岡大学）・宮崎 佳典（静岡大学）・藤枝 美穂（大阪医科薬科大学）・  
浅野 元子（大阪医科薬科大学）・野口 ジュディー（神戸学院大学）・  
石川 有香（名古屋工業大学）・若狭 朋子（近畿大学）

医学英語教育分野において、医学系論文抄録の読解そして執筆能力を身に付けることは、論文本体に取り組む前段階として特に肝要である。本研究では、国際医学誌に公表された研究論文の英文抄録と公式日本語訳データを活用することで、医学英語教育支援システムのプロトタイプ試作を行っている。同プロトタイプでは英日パラレルコーパスの特徴を最大限に生かした、医学英語学習者に資するコンコーダンスの機能開発を目標として掲げている。より具体的には、論文抄録ジャンルに典型的な構造に注目しつつ、日本語表現・英語表現どちらからでも検索を可能とし、その検索語が中央に表示されるように実装している。本研究は ESP(English for Specific Purposes)の中でも特に医学分野に特化した EMP(English for Medical Purposes)の領域に分類される。

## 賛助会員ビデオ放映

- チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)

## 昼食

- 各自でお取りください。ランチョンセミナーもぜひご参加ください。

## 懇親会

- 今回は懇親会は開催いたしません。

大会参加申込用  
QRコード



## 大会参加のご案内

- ご参加には事前申し込みが必要です。5月19日までに Google フォームよりお申し込みください。URL は <https://forms.gle/MjM4mNezBmyB4A4C8> です（右上の QR コードもご利用いただけます）。
- 発表者の方も参加申し込みをお願いいたします。
- 今回は会員・非会員とも参加費は無料です。
- 今回は Zoom を用いてオンラインで開催いたします。Zoom のミーティング ID およびパスコードは、参加申し込みをされた方に大会前日までにメールでお知らせいたします（ID・PC は各 Room で異なります）。なお、ログインの際はお名前を本名の表示（漢字・かな、またはアルファベット）にし、発言される時以外はマイクを OFF にしてください。
- 発表者の方は、発表開始 5 分前までにご自身の発表会場となる Room にログインしてください。
- 発表時には、発表者は画面共有機能を使うことができます。

以上

## 新規ご入会案内

- 会員になれますと、LET 全国研究大会、支部研究大会（年 2 回）での研究発表・実践報告、紀要への投稿などをしていただくことができます。
- LET 本部サイト（下記）にて入会登録をしていただくと仮会員になります。仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます。なお、年会費は次の通りです。

個人会員：年額 6,000 円 / 学生会員：年額 3,000 円 / 団体会員：年額 6,000 円

- 年会費をお支払いいただきますと、正会員になります（3 ヶ月以内にお手続きをお願いします）。

## 会員登録、会員情報の更新は

LET 本部サイト (<https://www.j-let.org/>) からお願いします →



